

## 特集 第8回通常総代会



SNSで  
旬な情報を  
投稿して  
います



# 特集 - 2022 -



今年で8回目を数える通常総代会を6月26日(日)、松江市の島根県民会館で開催しました。

昨年に続き、新型コロナウイルスの感染症対策として書面での決議を推奨し、当日は、総代定数1,000人(欠員10人)に対し、966人(本人出席45人、書面決議921人)が出席。議長団に、村上義成総代(隠岐地区本部)、天野猛総代(いわみ中央地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和4年度は、第3次中期経営計画、第3次農業戦略実践3カ年営農計画がスタートする年。JAしまねの10年後を見通し、持続可能な農業の実現、豊かでくらしやすい地域共生社会の実現、協同組合としての役割発揮の3つのスローガンのもと、先の3年間役職員一丸となって頑張っていきたい。そのためには何よりも盤石な経営基盤を確立することが必要。これまで取り組んできた信用共済事業、営農経済事業の改革をさらに進め取り組んでいく」とあいさつしました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において石川寿樹組合長の再任が決定しました。

また今回、飼料・肥料等生産資材価格高騰対策に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

今後、この決議に基づき、農家経営の維持、再生産が可能となるよう、行政・関係機関と連携しながら農業経営への影響を緩和する支援策に継続して取り組むとともに、消費者が求める安全・安心な島根県産農畜産物の安定供給に向け一層取り組みを強化していきます。



石川寿樹 代表理事組合長



議長団 村上義成 総代(左) 天野猛 総代(右)

## 飼料・肥料等生産資材価格高騰対策に関する特別決議

新型コロナウイルスの影響による物流の混乱や深刻化するウクライナ情勢等により、世界的に食料や資源の需給が逼迫しており、こうした食料や資源の多くを海外に依存するわが国の食料安定供給は危険にさらされている。

こうしたなか、生産現場では、農業生産に必要な不可欠な飼料・肥料等の生産資材価格の高騰が急激に進行し、農業経営の厳しさが増している。この状況が続けば、安定生産に支障をきたす危機的状況に陥りがかねないほか、離農を余儀なくされる農業者が出現する恐れもあり、なんとしてもこの難局を乗り越えなくてはならない。

私たちは島根の農業・農村を未来の後継者へ自信を持って引き継ぐ義務があり、また、将来にわたって安全・安心な島根県産農畜産物を消費者に提供していく責任がある。

本総代会を契機として、農業者と関係者が一体となって、島根の農業・農村を守るために、次の取り組みを強力に展開する。

記

1. 飼料・肥料等生産資材価格の高騰対策について、農家経営の維持、再生産が可能となるよう、行政・関係機関等に対し実効ある対策を引き続き求めていくとともに、JAしまねとしても農業経営への影響を緩和する支援策に継続して取り組む。
2. 農業者は、既に生産コストの低減に努めているところであるが、更なる生産コストの低減と経営効率化を目指し、JAしまねは行政・関係機関と連携した取り組みを強力に推進する。
3. JAしまねは消費者が求める安全・安心な農畜産物の安定供給に一層努めるとともに、地産地消を柱とした島根県産農畜産物の更なる消費拡大に向け、関係機関が一体となった取り組みを強化する。

以上、決議する。

令和4年6月26日

第8回 島根県農業協同組合 通常総代会

# 第8回 通常総代会

## 令和3年度 事業報告

令和3年度は、長引くコロナ禍の影響により、昨年続き、外食の自粛、インバウンド需要の減少に伴う農畜産物の需要減少、式典やイベントの自粛に伴う花弁の需要減少、移動制限に伴う観光関連収入の減少などが継続・拡大し、米価の下落や生乳の生産抑制等農業・農村地域に多大な影響が出ました。

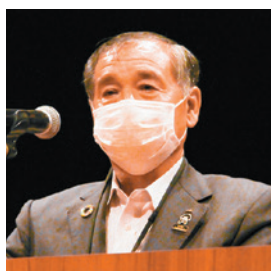
鳥根県内の経済においては、まん延防止等重点措置解除後の個人消費や雇用情勢持ち直しなど、全体的には緩やかに回復の兆しが見受けられますが、依然として先行不透明な状況が続いています。

農業情勢においては、春から夏にかけての低温・降霜被害、7月・8月の豪雨被害等により各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、11月に発生した鳥インフルエンザが9県で15事例(令和4年2月時点)発生しており、災害復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

JAグループにおいては、10月に開催した第29回JA全国大会で、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」― 不断の自己改革によるさらなる進化― を決議し、次の10年に向かって引き続き「不断の自己改革」を着実に実践していくこととしていきます。



高木賢一 代表理事専務



山根盛治 代表理事副組合長

こうした状況の中、令和3年度は、「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が382億5,200万円、購買品供給高が285億5,700万円、貯金残高が1兆111億6,900万円、貸出金残高が2,794億円、長期共済保有高が3兆457億4,500万円、貸出金残高が2,794億円、長期共済保有高が3兆457億4,500万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13.42%となりました。

収支面については、事業利益が5億7,500万円、経常利益は19億1,100万円、当期剰余金は6億7,500万円となりました。主要な事業活動と成果の詳細については次のページのとおりです。

貯金残高	1兆111億6,900万円
貸出金残高	2,794億円
長期共済保有高	3兆457億4,500万円
自己資本比率	13.42%
事業利益	5億7,500万円
経常利益	19億1,100万円
当期剰余金	6億7,500万円
販売品販売・取扱高	382億5,200万円
購買品供給高	285億5,700万円



投票風景

【議案】  
本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 令和3年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 第3次中期経営計画(令和4年度)令和6年度)の設定について
- 第3号議案 第3次農業戦略実践3カ年営農計画の設定について
- 第4号議案 令和4年度事業計画の設定について
- 第5号議案 役員選任について
- 第6号議案 定款の一部変更について(特別決議案)
- 第7号議案 規約の一部変更について
- 第8号議案 経営基盤強化積立金規程の一部改正について
- 第9号議案 「特定非営利活動法人フードバンクしまね」の設立及び加入について
- 第10号議案 「協同組合YADDO 知夫里島」への加入について
- 第11号議案 令和4年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第12号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- 第13号議案 退任監事に対する退職慰労金の支給について
- 第14号議案 令和4年度における理事の報酬額の決定について
- 第15号議案 令和4年度における監事の報酬額の決定について

# 令和3年度 主な事業活動と成果

令和3年度は、「第2次農業戦略実践3ヵ年営農計画」の最終年度として、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

## 販売事業

米穀は令和3年産の島根県における水稻の作況指数が100（前年99）となり、主食用の収穫量は86,000 tで、前年産比200 tの増となりました。また、3年産米の集荷数量は令和4年3月末現在で35,112 tとなり、出荷契約に対する集荷進捗は94.1%、前年対比では103.1%となりました。

## 園芸

島根ぶどうが、販売面でフォトコンテスト等SNSを活用した消費宣伝を行ったことや単価の高い早い時期への出荷誘導を行ったことにより、kg単価において過去最高の1,401円（税別）となりました。また、西条柿は、生果・あんぼ柿ともにkg単価は前年を上回りました。



## 畜産

コロナ禍による自助努力で回避できない大きな問題が次々と畜産経営に影響を与えるなか、生産者組織・関係機関と共に畜産物の消費拡大と、販路拡大に取り組みました。

## 信用事業

貯金の大宗を占める個人貯金について、総合事業体であるJAの特性を活かし、「しまね和牛」をプレゼントするキャンペーンを実施し、農畜産物消費拡大、農家所得の向上に取り組みました。貸出金については、農業資金において「令和3年度大雨・台風農業被害対策資金（県制度資金）」「令和3年度稲作経営安定緊急対策資金（県制度資金）」の取扱いを開始し、被害を受けられた農業者の支援に取り組みました。

## 共済事業

担い手経営体や個人農業者に対し、農業経営に関わる様々なリスクへの診断を行う「農業リスク診断活動」に取り組みるとともに、「JAしまねこども倶楽部」を通じた子育て支援や次世代との繋がりづくりに努めました。

## くらしの活動

コロナ禍で活動に制限はありましたが、豊かなくらし・地域づくりを目的とし、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱に地域活性化の核となる取り組みをすすめました。また、家の光・日本農業新聞等の教育資材を活用し、研修や学習活動をすすめました。



# 令和4年度 事業方針

## 指導事業

### 農業振興

「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度となり、第2次計画での成果と課題を踏まえ施策に修正を加えながら、「農業所得の確保」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に、全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対して積極的な支援・活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を推進します。

### 重点実施事項

- ① 次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ インボイス制度導入に係る部門(品目)横断的な情報発信
- ⑥ 営農指導・生産振興での生産者貢献
- ⑦ 農業振興支援事業の実施

⑧ 島根県産農産物の安全・安心への取り組み

⑨ 農業労働力確保対策

⑩ 将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

## くらしの活動

活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。豊かでくらしやすい地域づくりのためのふれあい活動として、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱とする「JAしまねくらしの活動」に取り組み、活動を通じた組合員・地域住民の連携強化によって地域活性化を促し、持続可能な「地域・組織・事業基盤の確立」を目指します。また、アフターコロナにおける新様式での取り組みを展開します。

## 販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

## 購買事業

### 生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

### 生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。

## 信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルティング機能を提供し、農業・くらし・地域に寄り添う金融仲介機能を発揮します。

## 共済事業

組合員・利用者に「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・地域社会とより広く・深く・長く「繋

がっていく」ことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、新たな生活様式への対応を加速させ、組合員・利用者一人ひとりのニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。





## 第8回 総代会 Q&A



### 【Q1】

次年度に向けてのことであるが、肥料・飼料・燃油の高騰等も入れて、水稻の品種ごとに加工用米、飼料用米等がそれぞれ最終計算で収入がいくらになるのか計算をしていただき、その一覧表を基にJAしまねとして稲作を今後どう導いていくのか支店単位での説明会を開くなど、早急な取り組みをお願いしたい。

### 回答)

今年度の冬季座談会に向けて、水稻は品種別に試算した収支一覧表、またWCS稲、飼料用米、加工用米の収支一覧表を作成し、農家の方へ説明したいと考えています。

### 【Q2】

酪農業を営んでいたが、円安やウクライナ問題など、酪農業を取り巻く環境は悪化しており、廃業を決意した。総代会資料には「出向く営農支援の強化」とあるが、本当に強化が行われているのか。また、私どものように続々と廃業が出るのではないかと大変心配している。どのような状況なのか認識いただきたい。

### 回答)

酪農家に対する「出向く営農」は、地区本部と本店で連携し体制強化に取り組んでおります。酪農における急激な情勢悪化は、現行制度の限界を超えた状況であり、生産者組織とJA・関係組織と連携し、市町村および島根県への要請活動に取り組んでおります。今回の窮状は、個々の酪農家・それぞれの組織で解決できる範囲を超えている事から、更なる対策が早急に必要だと認識しており、全国組織を通して緊急要請を実施し、国に対し緊急支援を求める事としております。

### 【Q3】

各地区本部別の損益制度について、メリット・デメリットを検証し、できるだけ早い段階で一定の結論を得ると謳ってあるが、メリットはある程度理解できるがデメリットについても組合員に対して分かりやすく説明をお願いしたい。

### 回答)

地区本部制（地区本部損益管理）は、地区の独自性が認められる反面、地区本部の枠を超えた人材活用、地区本部と県域全体方針との調整に時間を要すること、また地区本部間の取り組み格差等の課題があります。収益環境が厳しくなる中、10年後を見据えた地区本部制のあり方を検討し、なるべく早期に方針を決定します。

### 【Q4】

広域指導体制の構築ということで、指導員の育成や農業技術の確立に組織一丸となって推進するということが述べられているが、畜産指導員や園芸指導員は特別な分野の仕事だと思うので、ぜひ拡充して広域体制で指導していただきたい。

### 回答)

広域指導体制の構築に向けて現在、原案をもとに地区本部を巡回し、意見を集約しています。東西200km以上・隠岐の4島も含むJAしまね管内で、効率的な体制整備の実施案をまとめていきます。

### 【Q5】

JAしまねにおける不断の自己改革とは、最終的にはどうしているのか。

### 回答)

JAしまねにおける不断の自己改革の目的については、農業振興が最大の目的であり、これを実現するための経営基盤強化に引き続き取り組みます。

## 組合長あいさつ



代表理事組合長 石川 寿樹

組合員の皆様には、平素よりJAしまねに対し、格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

6月26日に開催した通常総代会後の理事会において、代表理事組合長に引き続き就任させていただきました石川でございます。大役の責任を改めて痛感すると同時に、全力で職務を全うする所存でございます。

さて、新型コロナウイルスが世界規模で蔓延し約2年半が経過しますが、未だ収束の兆しが見えておりません。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻など世界経済は更に不安定さを増し、国内農業へも深刻な影響を及ぼしています。管内においても、人口減少や高齢化、担い手不足による農業生産基盤の脆弱化や、信用共済事業の収益減少などによる経営基盤の弱体化が進むなど、年々厳しさを増しております。

このような状況のなか、JAしまねでは「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」を10年後の「めざす姿」とし、実現に向け役職員一丸となり取り組んでまいります。

また、令和4年度は「第3次中期経営計画」「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」のスタートの年であります。先に述べましためざす姿の実現に向け、「持続可能な食料・農業基盤の確立」「持続可能な地域・組織・事業基盤の確立」「不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化」「協同組合としての役割発揮を支える人づくり」「食」「農」「JA」にかかる県民理解の醸成」の5つを重点的に実行してまいります。

特に営農部門では、当面の米価低迷・生産資材の高騰等、営農継続の危機突破に全力で取り組みながら、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」のため販売高411億円を目標に、園芸重点推進6品目の産地拡大、新規就農者の確保・担い手育成などに取り組んでまいります。

また、農林水産省が昨年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」への対応も重要な課題の1つであり、有機農業の拡大や化学肥料・化学農薬の削減など、環境にやさしい農業の実現に向け、行政機関と連携して研究・普及を図ってまいります。

一方で、こうした事業を着実に実践していくためには、何よりも盤石な経営基盤を確立する必要があります。そのため、これまで取り組んできた信用共済事業、営農経済事業の改革を引き続き進めてまいります。

特に営農経済事業につきましては、集出荷施設の整備や営農指導体制の広域化を図り、専門性の高い部門である農機事業や自動車燃料事業においては事業方式の見直しを検討してまいります。

結びに、組合員の皆様には、引き続き変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。



# 新役員紹介

JAしまねの発展につとめてまいります。  
よろしくお願い致します。



常務理事  
(企画管理)  
田中 徹



常務理事  
(信用、共済)  
竹下 克美



代表理事専務  
(リスク管理、総務、人事)  
日高 光弘



代表理事副組合長  
(営農、経済)  
山根 盛治



代表理事組合長  
石川 寿樹



くにびき地区本部  
常務理事 本部長  
越野 浩昭



理事  
寺本美貴子



理事  
三島 明美



理事  
高橋美佐子



理事  
古川 敬



やすぎ地区本部  
理事  
上廻 達矢



やすぎ地区本部  
常務理事 本部長  
中尾 武



くにびき地区本部  
理事  
諏訪 智子



くにびき地区本部  
理事  
福井 繁久



くにびき地区本部  
理事  
菅井 一



隠岐地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木賢治



雲南地区本部  
理事  
戸田 雅之



雲南地区本部  
理事  
藤原 政文



雲南地区本部  
理事  
岩田 孝史



雲南地区本部  
常務理事 本部長  
源 之美





出雲地区本部

理 事  
小村 伸治



出雲地区本部

理 事  
藤江美由紀



出雲地区本部

常務理事 副本部長  
坂本 満



出雲地区本部

常務理事 本部長  
珍部 誠



隠岐どうぜん地区本部

常務理事 本部長  
蛭子 郁夫



斐川地区本部

理 事  
青木 広幸



斐川地区本部

常務理事 本部長  
山根 善治



出雲地区本部

理 事  
高野 智子



出雲地区本部

理 事  
山本 直樹



出雲地区本部

理 事  
鎌田 英男



いわみ中央地区本部

常務理事 本部長  
佐々木 豊



島根おち地区本部

理 事  
三上 博通



島根おち地区本部

常務理事 本部長  
服部 幸信



石見銀山地区本部

理 事  
厚朴 邦広



石見銀山地区本部

常務理事 本部長  
川上 隆



西いわみ地区本部

理 事  
西川 友史



西いわみ地区本部

理 事  
中村 力



西いわみ地区本部

常務理事 本部長  
田村 清己



いわみ中央地区本部

理 事  
佐々木重盛



いわみ中央地区本部

理 事  
藤若 将浩



監 事  
倉橋 英二



監 事  
三島 滋夫



常勤監事  
福田 克則



常勤監事  
嘉本 智美



代表監事  
黒谷 幹雄



雲南地区本部

執行役員副本部長  
佐藤 善雄



くにびき地区本部

執行役員副本部長  
中村 隆



員外監事  
利弘 健



topics 1

## 農事組合法人ふくどみ 全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣賞を受賞！



出雲市斐川町で大豆、水稲、麦類を生産する農事組合法人ふくどみが、JA全中とJA新聞連が主催する第50回全国豆類経営改善共励会の「大豆集団の部」で最高位の農林水産大臣賞を受賞されました。7月14日にJAしまね斐川地区本部で表彰式が開かれ、中国四国農政局の及川仁次長から、同法人の佐野芳夫組合長に表彰状が手渡されました。

同法人は平成22年に設立し、17戸の農家で構成。令和3年の大豆生産面積は13.6haで、収量は10aあたり228kg（過去5年は228～279kg）と県平均の2倍以上を達成し、上位等級比率も90%以上と多収、高品質の両方を実現されました。

2年3作体系のブロックローテーションに取り組み、耕地利用率は144%。オペレーターを務める高橋智和理事が工夫した農機によって、弾丸暗渠施工（80cm間隔）時に石灰窒素の深層施肥を同時に行うことができ、大豆の一生で一番養分の吸収が多い開花期以降の窒素供給が可能になりました。また、RTK-GNSS基地局を活用したトラクターの直進機能を使うことで、播種精度と中耕除草機の作業精度を向上させるとともに、的確な除草剤使用と併せた生育初期からの除草を徹底する等の取組みが多収・高品質の大豆生産に繋がったと評価されました。

佐野組合長は「高橋オペレーターの創意工夫の賜物。斐川の大豆栽培が全国で注目される機会になり嬉しい」と話されました。



受賞を喜ぶ佐野組合長（中央）、高橋理事（左）、構成員である出雲市斐川土地改良区の遠藤泰夫理事長

topics 2

## 県青協がJA青年大会を開催！



島根県農協青年組織協議会は6月28日、邑南町で2022年度島根県JA青年大会を開きました。JAしまねの各地区本部の青年連盟から10人が発表し、青年の主張の部は、島根おおち青年連盟の寺本直人さん、組織活動実績発表の部は石見銀山青年連盟の坂根拓倫さんが最優秀賞に輝きました。

寺本さんは「僕にとって農業とは？」と語りかけながら、職場体験にきた高校生から受け取った手紙をきっかけに、自分自身に起こった気持ちの変化について発表。審査員長を務めた家の光協会西日本普及文化局の岡本忠副局長は「農業には人生を変える・豊かにする力があると明確な主張があった。また、次の若い世代の人たちにつながるような強いメッセージも含まれていた」と講評しました。

坂根さんは、古くから地域に愛されているボン菓子加工や農林大学校との交流などの活動を発表。コロナ禍でも工夫をこらしボン菓子加工を続けていることや、農大生との交流会をきっかけに体験学習の受け入れなど活動の幅が広がったことを話しました。また今年から40歳以上のJA役職員との農作業交流を始め、農業者とJAが改めて互いを理解する場となっていることを報告しました。岡本副局長は「組織活動が次世代の後継者の育成に繋がっている素晴らしい事例の発表だった」と講評しました。

2人は11月14日に高知県で開かれる中国四国地区JA青年大会に出場します。

その他の入賞者は次の通りです。

- ▽青年の主張の部優秀賞＝佐々木貴裕（いわみ中央青年連盟）
- ▽組織活動実績発表の部優秀賞＝伊藤尚幸（斐川青年連盟）



賞状を手に喜ぶ受賞者ら（前列中央4人）

topics 3

## 家の光文化賞農協懇話会 第7回懸賞論文で優良賞を受賞！



家の光文化賞農協懇話会が取り組む第7回「懸賞論文」の審査結果が発表され、全国のJA役職員から応募があった中、JAしまね本店ふれあい福祉課の熱田由香職員の論文「持続可能なJAづくり～教育文化活動の現状と課題を考える」が優良賞を受賞しました。

熱田職員は、持続可能な農業・JA・地域の未来を創るためには、教育文化活動によって組合員・利用者・地域住民と“つながる”ことが最重要課題であると強調。来店しなくなる支店を目指しJA役職員と女性部員が「一緒に」美化活動などに取り組む「おもてなしプロジェクト」のような「協同活動」「共働活動」の促進や、JAの総合事業について学び、農業体験を通じて農作業の大変さを「一緒に」体験するなど、組合員とJA役職員が「一緒に」学ぶ「協同（共働）大学」の開講を提案し、持続可能で地域に輝くJAの実現に向けた取り組み強化を訴えました。

同会では、JA全国大会の開催に合わせ3年に一度、教育文化活動をテーマに入れた論文を募集し、今回は「持続可能な農業・JA・地域の未来を創る～教育文化活動の役割と10年後のめざす姿～」をテーマに全国から18編の応募がありました。



表彰状を手にする熱田職員

SDGsとは、国連が決めた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」から、一文字ずつ取った略称です。17の目標をマークで示しています。

# 信用手数料変更のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

**令和4年10月1日(土)**から、**手数料を変更**させていただきます。

当JAでは今後とも、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 変更内容

### ◆現金取扱手数料 (消費税含む)

両替、金種指定払出、大量硬貨入金手数料 (窓口) ※渉外担当扱いも含まれます。	1~50枚	無料
	51~500枚	550円
	501~1,000枚	1,100円
	1,001~1,500枚	1,650円
	以降500枚ごと	550円加算

- ◇個人および法人を含むすべての利用者の方で、窓口での該当のお取引をいただく際、手数料をいただきます。
- ◇新札への両替および新札での金種指定払出を含みます。
- ◇金種指定払出手数料のお取り扱い枚数は、お引出し総枚数から万円券を除いた枚数で計算します。
- ◇両替のお取扱枚数は、ご持参(両替前)の枚数、お持ち帰り(両替後)の枚数のいずれか多い枚数が基準となります。
- ◇両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。
- ◇硬貨枚数を確認した後に、お手続きを取りやめる場合や、金額を変更される場合も手数料をいただきます。
- ◇同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきますので、可能な限り、お一人(一団体)様1日1回でお取引願います。
- ◇募金・義援金等にかかる大量硬貨入金および、汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。
- ◇当日中でのお手続きが困難な場合や窓口の混雑が予想される場合は、大量硬貨でのお取引をお断りする場合があります。

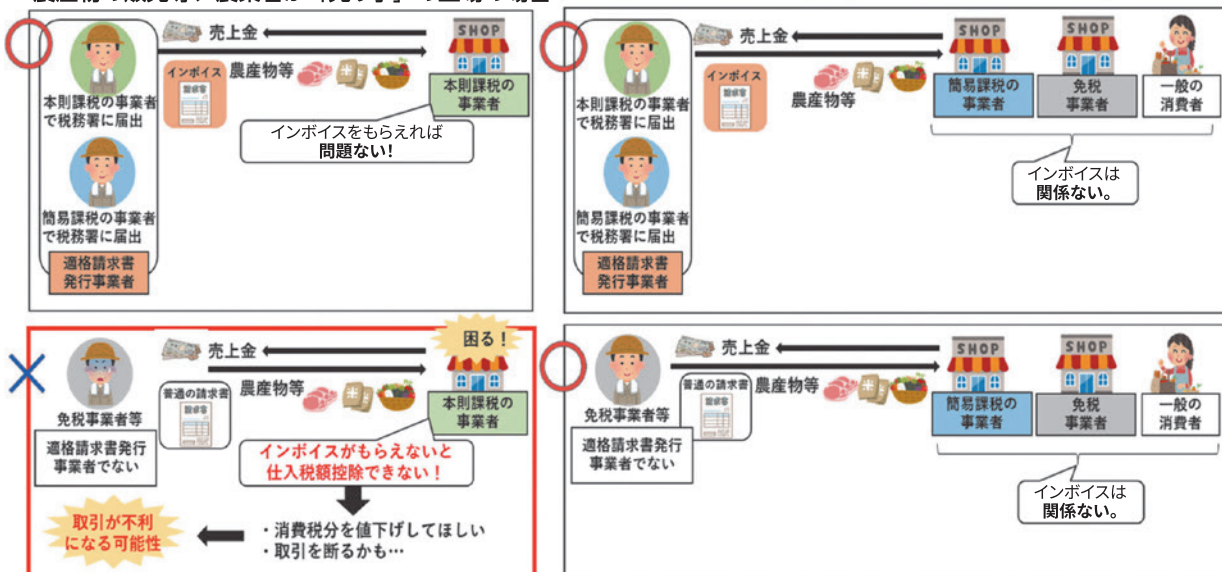
手数料については、店頭もしくは、JAしまねホームページ掲載の「信用手数料一覧」でもご確認いただけます。



## Q 農産物の販売等、農業者が「売り手」の立場の場合の留意点について教えてください。

**A** 農業者が適格請求書発行事業者の場合、本則課税の事業者から「適格請求書(インボイス)」の発行を求められたら発行する義務がありますが、一方、農業者が免税事業者等の**適格請求書発行事業でない場合、「適格請求書(インボイス)」の発行ができない**ため、本則課税の事業者は仕入税額控除ができなくなります。そのため、「消費税分を値下げしてほしい」、「取引を断るかも・・・」等、**取引が不利になる可能性**が考えられます。

### 農産物の販売等、農業者が「売り手」の立場の場合



(注) 本則課税、簡易課税の農業者であっても、自動的に「適格請求書発行事業者」になるわけではありません。税務署に届出をしないと「適格請求書発行事業」になれませんのでご注意ください。



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

## やすぎ女性部

つながろう✿

(仲間と・地域と・他組織と・次代と)

新型コロナウイルス感染拡大から2年、安来市内でも感染が確認され、支部内では活動らしい活動ができず、女性部主催の「女性倶楽部」も開講できませんでした。

そんな中、JA女子大6期生OGを新たに加えたフレッシュミズ部会「かぐやひめ」は、料理教室をクッキングショーにしたり、味噌作りを味噌配布に切り替えたりと感染対策に取り組みながら活動しました。他にもガラスアートや樹脂粘土の干支の寅作り、街探検&ミカン狩り、プリザーブドフラワーのコサージュ作りと感染対策に配慮しつつ、地元企業との関わりを持ちながら、季節を取り入れた企画を年6回実現しました。

昨年度は、女性部とフレミズとの交流があまりできませんでした。今年度はお互いの活動に参加し合いながら、より一層JAしまねやすぎ女性部の“つながり”を大切に活動していきます。



令和4年度は、JA女性組織3ヵ年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」の実践初年度です。

つながろう✿

まもろう✿

かかわろう✿

の3つの具体的目標を掲げ活動します。



一所懸命青年連盟

## JAしまねくにびき青年連盟

JA YOUTH

おおにし たかひろ  
大西 貴広さん



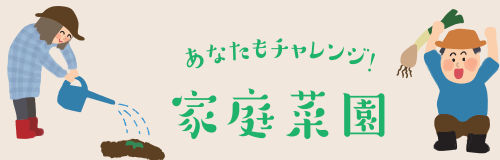
地産地消に取り組み、  
農業を通して、  
地域に  
貢献していきたい。

JAしまねくにびき青年連盟（以下、農青連）に加入している大西貴広さん（41）。松江市浜佐田町で水稻や野菜を栽培する農業生産法人に勤務しています。大学卒業後は他産業の事務員として働く一方、自然と触れ合える仕事に興味を持っていた大西さん。退職を機に農業体験として研修を受け、代表からの誘いもあり現在勤めている法人への就職を決意。現在では経営の中でも欠かせない存在となっています。

勤務先の法人は市内の産直市場にも数多く出荷し好評を得ています。大西さんは「農産物は新鮮さに敵うものはない。消費者や仲卸などバイヤーの要望に応えられ、沢山の農産物を販売できたときにやりがいを感じる。ぜひ、産直市場で我々農業者が丹精込めた品を手にとってほしい」と産直への強い想いを語ります。

農青連へは視野を広げた方がよいとアドバイスを受け、平成23年に入会。「同じ農業者がこんなにいるのか。全国では盟友がレベルの高いことに取り組んでいる」と刺激を受けたそうです。また委員を務めるなどの経験も現在の農業での活躍に繋がっています。

大西さんは「農業は異常気象など予想しないことが起き、その対応に苦勞するが、今後も消費者などの期待に応え、満足していただけるよう、よいものを作り続けていきたい」と抱負を語りました。



# チンゲンサイ

園芸研究家 成松 次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

## シャキシャキとした歯触りを楽しむ

チンゲンサイ（青梗菜）は代表的な中国野菜で、ビタミンやミネラルを豊富に含みます。日本の野菜では「体菜」に似ています。中間地では冬を除き、春から秋まで栽培ができます。

### 品種

「青帝」（サカタのタネ）、「ニイハオ新1号」（渡辺農事）などがあり、「長陽」（タキイ種苗）、「夏賞味」（武蔵野種苗園）は、暑さに強い夏向きの品種です。「シャオパオ」（サカタのタネ）は、小さいので丸ごと料理に使えます。

### 畑の準備

種まきの2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gをまき、酸度を矯正しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料（NPK各成分10%）100gを施し、土とよく混ぜておきます（図1）。次に、幅1m程度、高さ5cm程度の栽培床を作ります。

### 種まき

一般にはじかまきします。高温期の春夏まきでは条間20cm、株間20cm、秋まきでは条間15cm、株間15cmに1カ所4、5粒を点まきします（図2）。発芽まで土が乾かない

程度に灌水（かんすい）をし、発芽後は土が乾いたら水をたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。苗作りをするには、小型ポットや連結ポットで本葉3、4枚の苗に仕立てます（図3）。種まき（植え付け）後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護します。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。

### 間引き

1回目は発芽そろい後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚で1本にします（図4）。

### 病害虫防除

基本は防虫ネットで害虫防除をしますが、農薬では、アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはトアロー水和剤

CTなどのBT剤を使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取ります。

### 収穫

草丈15~20cmくらい、尻が張り始めた頃に、地際から切り取って収穫を始めます（図5）。

### 栽培カレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				春まき	●	■		秋まき	●	■		
中間地			春まき	●	■			秋まき	●	■		
暖地	春まき	●	■					秋まき	●	■		

● 種まき    — 生育    ■ 収穫

図1 畑の準備



図2 種まき（秋まき）

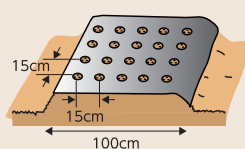


図3 苗作り



図4 間引き

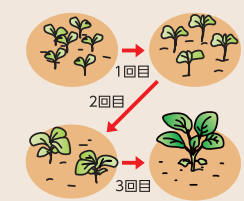
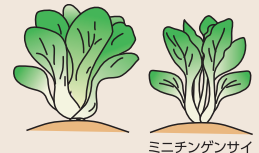


図5 収穫



## 《金融部より》



**ご注意ください**

J A等の職員を名乗り、訪問や電話で、お客さまのキャッシュカードを預かったり、暗証番号等を聞きだす、さらには現金を引出す事件が発生しています。詐欺被害にあわないためにご注意ください。

- ・暗証番号は、他人に知られないように管理して下さい。
- ・暗証番号等を聞き出そうとする電話等には一切答えない下さい。

### （6月22日開催）【協議事項】

- ①令和4年度J Aしまね飼料・肥料高騰対策（案）について
- ②J Aしまね肥育センターの今後の方向について

③職制規程の一部改正について

④第8事業年度業務報告書について

⑤飼料・肥料等生産資材価格高騰対策に関する特別決議について

### （6月26日開催）【協議事項】

- ①役付理事の選任について
- ②代表理事の選任について
- ③特定理事の選任について
- ④常務理事の職務代理順位について
- ⑤常務理事の担当業務の決定について
- ⑥理事の個別役員報酬額の決定について

⑦執行役員の選任について

⑧執行役員の個別報酬額の決定について

⑨退任役員に対する退職慰労金の支給について

⑩系統団体および関連団体等への役員就任について

⑪役員賠償責任保険への加入について

⑫専門委員会の委員選任について

# いわみ中央地区本部 新役員体制紹介

## 就任のごあいさつ

先の第8回通常総代会において理事に選任頂き、理事会においていわみ中央地区本部常務理事本部長に就任いたしました。

大役を仰せつかり身の引き締まる思いでございますが、先輩諸氏並びに理事・監事の皆様のご助言、ご協力を仰ぎ、組合員の皆さんの負託に応えるため、健全な地区本部運営を行い農業振興等業務に邁進してゆく所存でございますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨今の農業農村、そして地域社会を取り巻く環境は、高齢化が進み担い手・労働力不足、度重なる気象を起因とする自然災害、新型コロナウイルス感染症並びに世界情勢に起因する、肥料・飼料・燃油などの高騰の中、どのように中山間地農業を守るのか大きな課題と認識しています。

また、国で策定された「みどりの食料システム戦略」やSDGs等持続可能な社会実現へ向けた転換期にあり、農業やJAの事業環境に大きな変化が予想されます。

JA運営に対する環境の厳しさも一段と増している中、新たな体制のもと、『一人は万人のために、万人は一人のために』を基本に、地域の皆さんとの絆を大切に、「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を三本の柱に、皆様のご理解とご支援をいただき、自己改革・事業改革を進め「健全な地区本部運営」と「農業基盤の再構築と豊かな地域づくり」を活動の両輪として、地域農業の発展、地域社会への貢献など組合員・地域の皆様に信頼され、地域に貢献できるJAを目指してまいります。

今後ともより一層の、ご指導、ご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。



いわみ中央地区本部  
常務理事 本部長  
佐々木 豊



監事(西部地区選出) 倉橋 英二



理事 佐々木 重盛



理事 藤若 将浩



前監事(西部地区選出) 川神 守



前理事 中束 多久夫

退任される役員

## 美しい美川の田園風景を残していくために 美川西集落営農連携協議会設立



6月29日美川西集落営農連携協議会の設立総会が開催されました。

全国的に農業を取り巻く環境は持続的な農地維持が厳しい状況です。美川西地区においても同じで、今後の農地維持のために現状の対応策だけではなく更なる取り組みを行い、この美川西地区が地域営農の持続的な地域になることを目的として今回、美川西集落営農連携協議会を設立されました。設立総会で会長の

太田靖男氏は「2年前から農政の方々と協議し、この地区の圃場を維持していくため今回連携協議会を立ち上げた。皆さんの協力を得て計画してきたことを実行し農地維持ができるようにやっていきたい。」と力強く宣言されました。美しい美川の田園風景を残していくための活動がスタートしました。



## 2022年 初夏キャベツ出荷目合わせ会



6月20日いわみ中央地区本部キャベツ部会は、初夏キャベツの出荷目合わせ会を金城支店にて開催しました。7名の部会員が参加しました。

初夏キャベツは出荷開始から終わりまでの期間が短く、収穫の際はタイムリグが重要です。当日は、生育や市場価格の状況説明を行

い、実際に現物を見て、規格、梱包の仕方などを確認しました。また島根県西部農林水産振興センター須田普及員を招いて部会員との情報交換や質疑応答の対応をして頂きました。

キャベツは県の水田園芸6品目の中核的農産物であり、秋冬キャベツの情報についても少しふれました。JAしまねいわみ中央地区本部は、面積拡大、品種試験、新規生産者の掘り起こしなど生産者と一緒になって取り組みたいと思います。



## ぶどう栽培講習会開催

いわみ中央ぶどう部会（部会長 佐々木巖）は、5月27日、6月9日浜田市久代町・金城町において栽培講習会を開催しました。

当日は多くの生産者が参加され、西部農林水産振興センター農業振興部米山普及員より、現在の生育進捗の確認や摘粒から収穫前の管理について講習を受けました。管内のぶどう状況は4月、5月は例年より日照量が多く生育が進み早い園では顆粒肥大期を迎えましたが6月以降、好天による寒暖差が少なく着色が心配されます。また、降水量も少なく例年に比べ小房傾向となっています。

講習会終了後は、現場を見ながら会員同士で今後の栽培ポイントについて意見交換していました。



成育の心配はありませんが、いわみ中央ぶどう部会では6月末からデラウェアの出荷が開始される予定であり、7月に入りピオーネやシャインマスカットを中心とした大粒系ぶどうの出荷が予定されています。

生育・気象状況に対応した管理作業を  
**水稻青空講習会**

7月1日～7月6日にかけて、いわみ中央地区本部では、6地区44会場ですべて2回目の水稻青空講習会を開催し、273名の参加がありました。今年の梅雨明けは6月28日で平年より21日早く、また梅雨の間も降水量が少なく、水不足により悩んでいるとの農家の声もありました。JAの指導員からは、「水不足の圃場では、飽水管理を実施してほしい。」と指導しました。今月のポイント「水管理」、「穂肥」、「病虫害対策」、「刈取作業」、「収穫以降の管理」を説明しました。今後も厳しい暑さが予想されるため、草刈り作業など熱中症には十分注意するよう呼びかけ、引き続き生育状況をよく観察して、気象状況に負けない稲づくりをめざしましょう。



**椎茸県内先進地視察**

いわみ中央菌床椎茸生産部会（部会長 向井康博）は、6月29日に組合員の生産意欲向上、後継者育成等を目的とした先進地視察研修会を開催しました。今回は、出雲市平野町の森山智美氏の菌床椎茸ハウスと奥出雲町の(有)奥出雲椎茸の菌床製造施設の2ヶ所に行きました。

森山氏は、ご夫婦お二人で経営されており、補助事業を活用し、空調完備の菌床栽培ハウスで周年栽培をしておられました。菌床数は年間30,000菌床を管理され、当管内にはない設備であった為、参加された生産者は熱心に見学・質問されていました。午後からは、(有)奥出雲椎茸へ

向かい、菌床がどのように製造されているのかを見学・説明を受けました。(有)奥出雲椎茸はキクラゲや島根県独自品種であるエノキタケ（黄雲）など多種多様の品種を扱っており、当管内も新たな品種へ取り組む際は参考にしたと思います。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、視察研究会や講習会等の開催が難しい状況でありましたが、この度久々に開催することができ生産者の親睦及び生産意欲向上に繋げることができたのではないかと思います。



オープン累計来場者数250万人達成  
**きんさい市場黒川店**

きんさい市場黒川店は、7月13日に来店者合計250万人を突破しました。平成14年8月2日にオープンして以降、約20年間にわたり、多くの生産者・消費者にご愛顧いただき、この日を迎えることができました。



記念すべき250万人目は江津市在住の森田ふみ子さんで、突然のイベントに大変驚かれたものの「産直の商品は新鮮で美味しいので、これからも来店します」と話され、いわみ中央産直振興協議会の峠田会長より産直品で作成した花束を、JAより当日出荷された産直野菜と8月から本格出荷される管内産ピオーネの目録を贈呈しました。

これからもきんさい市場は生産者と消費者をつなぐ場所として、皆様に愛される店舗運営に努めてまいります。



笑顔いっぱい!

# ふれあい農業体験塾

## さつま芋苗植え



令和4年6月19日浜田市上府町の畑でふれあい農業体験塾さつま芋苗植え体験を開催しました。当日は22家族（79名）の参加があり、JA営農経済部の職員がさつま芋の歴史や植え方など説明を行ったあと全員で作業に取り掛かりました。

気温も高く暑い日でしたが、参加された方皆さん頑張って植えていただき準備した6畝全て植えることが出来ました。

さつま芋苗植え後、JA営農経済部の職員が近くで栽培されている野菜を使って参加された児童に野菜の学習を行いました。皆さん真剣に説明を聞かれて、ふれあい農業体験塾を終了しました。

秋にはたくさんのさつま芋が育ち、参加者の皆さんと一緒に収穫体験が出来ることを楽しみにしています。

今回も上府農事法人組合のご協力をいただき開催が出来ました。ありがとうございました。



西条柿摘果講習会開催



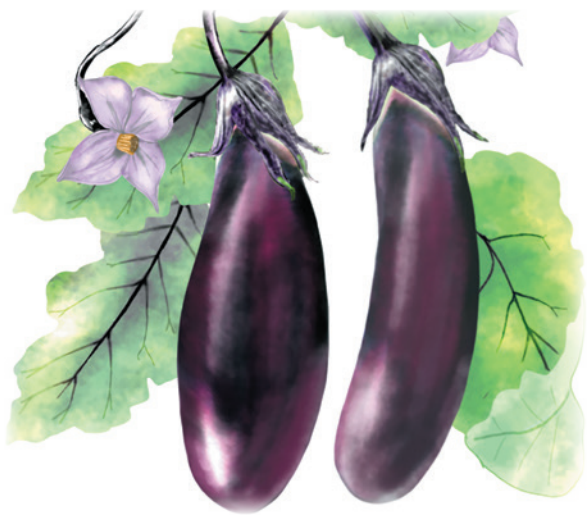
7月7日いわみ中央西条柿生産組合(組合長池田道成は、西条柿の摘果講習会を浜田地区(迫本氏園地)・三隅地区(東平原)の2会場で開催し32名の参加がありました。西部農林水産振興センター南山技師を講師に迎え、主に「生育状況」「摘果」「追肥」「大雨・強風・台風対策」について説明を受けました。園地や樹によって着果量に差があるため全体の着果を考慮して摘果を行うよう指導を受けました。また、今年は空梅雨だったために降水量が少なく、果実肥大への影響が心配されるため灌水できる園地については定期的に行い、灌水できない園地では樹幹下に敷草や敷きわらを行い、乾燥防止に努めるよう説明を受けました。

今年、今のところ大きな病害虫被害もなく生育しています。今後順調に生育すれば例年並みの出荷量が見込まれる予定です。



なかなす出荷目合わせ会

7月4日いわみ中央地区本部なす部会は、浜田市の柿選果場と金城支店にて「なかなす」の出荷目合わせ会を11名参加で開催しました。今期の初回出荷は6月下旬に開始し、これから徐々に数量も増えていき、10月頃まで続きます。今年度は新規生産者も2名増えて活気が出てきました。当日は、出荷規格の注意点を資料と現物を参考にし、合わせて今後の剪定や病害虫防除などの説明を担当職員が行いました。また参加者同士で意見、情報交換などあり有意義な時間でした。担当職員も「なすは県振興の園芸品目には入っていませんが、需要もたくさんあり、収益性も高いため更に発展していくために尽力したい」と話しました。



地域の話題

宇野町松葉菊



浜田市宇野町の下府川河川敷の両側に6月から8月にかけてピンク色や白色の花の絨毯が見られます。これは松葉菊という花で宇野町長寿会

の皆さんが長年手入れをされており、挿し木をしながら少しずつ増やしていったものです。JA女性部浜田宇野支部の部員の皆さんもこの活動に協力しており、地域の方々が毎年丁寧に手入れをされ綺麗な花を咲かせています。JA女性部浜田宇野支部(河野桂子支部長)は「今後も松葉菊を増やしていきたい」とのことでした。ぜひ宇野町へ立ち寄られた際は松葉菊の咲く景色をご観賞ください。





## え~のう ちょっと宮農!!

2022年8月号

### 根菜類（ダイコン・カブ）の栽培管理ポイント

#### ●大根栽培のポイント

**特 徴**・・・作る季節に応じて品種を選ぶことが大切です。冷涼な気候を好み耐寒性がありますが肥大した根は凍害を受けます。トウ立ちなどの性質は品種により異なります。土壌は選びませんが作土は深く。

**施 肥**・・・1㎡当たり苦土石灰を150g、堆肥は約2kg、化成（8：8：8）150g。岐根や奇形根の原因になる未熟堆肥は使用しないようにしましょう。

**種 ま き**・・・畝幅75cm、株間30cm、高さ15cm以上、条間25cmのちどり播きにします。

**間 引 き**・・・1回目の間引きは子葉が完全に開いたとき、形の良いものを残して3本立ちにし、2回目は本葉2～3枚の時に2本立ちにし、3回目は本葉6～7枚の時に1本立ち。

**追 肥**・・・2回目と3回目の間引き後、株のまわりに化成（8：8：8）50gをばらまきます。

**土 寄 せ**・・・間引き後は株がふらつきやすくなっていますので丁寧に行いましょう。

**収 穫**・・・目を見た場合の収穫期は、外側の葉が垂れ中心部の葉が横に開いて見えるころです。



#### ●カブ栽培のポイント

**特 徴**・・・生育適温は20～25℃前後、高温に弱く涼しい気候を好むので栽培の適期は春と秋です。土壌は保水性、排水性に富んでいることが重要です。また、乾きすぎると裂根の原因になります。

**施 肥**・・・2週間以上前に1㎡当たり苦土石灰を100g、堆肥は約2kg、1週間前に化成（8：8：8）100gを施して再度耕します。

**種 ま き**・・・深さ1～1.5cm程のまき溝を作りスジまきにします。畝幅75cm、条間は小カブは15cm、中カブは20～25cm、大カブの場合は40～50cmにします。

**間 引 き**・・・1回目は本葉1枚、2回目は本葉2～3枚、3回目は本葉5～6枚。株間は最終的に小カブで10cm、中カブでは15～20cm、大カブでは30～40cmにします。

**追 肥**・・・小カブの場合は元肥のみで、中・大カブでは2回目、3回目の間引きをした後に化成肥料を1㎡当たり20g撒きます。あわせて中耕・土寄せを丁寧に行いましょう。

**収 穫**・・・小カブは直径4～5cm位、中カブは8～10cm位、大カブは20～30cm位をおおよその目安とします。収穫までの日数は、種まき後、秋まきの小カブは40～50日、中カブは5～60日、大カブは60～90日が目安です。



#### 水稻栽培ワンポイント

##### ●乳白米などの白未熟米の発生要因と対策

出穂期後20日間の平均気温が、27℃以上の高温が続くと、籾の充実度が落ち、乳白米などの白未熟粒が発生します。対策としては中干で根の活性を維持した後、出穂後20日以上は間断灌水を続けましょう。また、落水期については玄米（一粒のお米）の大きさが決まるまで約4週間かかり、早期の落水は米の品質を落とすので出穂後30～35日後に落水しましょう。



## 西部農林水産振興センターからのお知らせ

# 農作物の台風対策

台風や大雨は、毎年全国各地に農作物被害をもたらしています。昨年は2月に発生した第1号を皮切りに22個の台風が発生し、8月の台風9号では、県内全域で土砂災害や停電、河川の氾濫等により大きな被害を受けました。

台風の半数以上はこれからの季節(8~10月)に発生しており、接近する回数も増える傾向にあります。万が一の場合に備えて、被害を最小限にするための対策や日頃の確認を行いましょ。



## 対策例

- 排水路や用水路の清掃、補修、ポンプの定期的な確認を行う。
- 被覆資材の確認や補修を行う。特に骨組、防風ネット、果樹棚等はしっかりと固定・補強する。
- マルチ栽培の場合、裾の覆土、押え資材の確認と補強を行い、風雨による浮き上がりを防ぐ。
- 出荷や収穫可能なものは早めに収穫する (農薬散布から収穫までの経過日数に注意!)。
- 風雨により資材や飼料が濡れて品質が低下しないよう、安全な場所に移動させる。



マルチ裾の覆土



水路清掃の様子

- ほ場の見回りや資材の補修は安全を優先し、無理な作業は避ける**  
ほ場の見回りなどは大雨や強風が治まるまでは行わないでください。また、治まった後であっても、増水した水路や傾斜地のほ場など、危険な場所や周辺の安全に十分注意が必要です。
- 気象情報を十分に確認**  
適時適切な対策を行うためにも、最新の気象情報を確認しましょう。
- 通過後も注意**  
風雨で農作物が傷ついている場合は、病害に注意が必要です。また施設栽培においては、強風により被覆資材が損傷すると害虫の侵入口になりますので、適切な処置をしましょう。

問合せ先 西部農林水産振興センター農業振興部：0855-29-5615

## 7月講義

### ～オンライン視察旅行 福岡辛子明太子作り～

7月14日、JA女子大学7期生は7月の講義「オンライン視察旅行」を開催しました。現在、コロナ禍の中で旅行に行くことが難しい状況です。そこで今回の講義は少しでも学生のみなさんに旅行気分を味わってもらおうとJAの会議室と福岡県の土産物屋㈱はねや「博多はねや総本家」とオンラインで結び、辛子明太子を漬け込む「明太子道場」のオリジナル明太子作り体験をしました。

まず、道場講師より「明太子は何の魚の卵でしょうか？」というクイズから始まり、辛子明太子が誕生して72年の歴史について学びました。その後、事前に送付してもらったキットを使い、指導を受けながら現卵（タラコ）に唐辛子や昆布などをいれて漬け込む作業をしていきました。中でもお酒の入った漬け汁は、学生が各自、日本酒、泡盛、ブランデー、ワインの中から選び自分好みの味付けの辛子明太子に仕上げていきました。

「今まで何気なく食していた明太子について詳しく学べて良かった」「講師の博多弁でのトークはおもしろくて解り易く、少し福岡に行った気分になったわ」などみなさんととても満足そうでした。5日後の漬け上がりには炊き立てのご飯にのせていただくのを楽しみに各自持って帰られました。今頃お家で「とっとうまかばい」と召し上がっていることでしょう。



## 笑顔いっぱいでした！ 金城女性部グランドゴルフ大会

金城女性部（宮本美保子部長）は7月1日にグランドゴルフ大会を開催しました。当日は快晴で夏真っ盛りでしたが、参加者34名皆さん笑顔で楽しく元氣いっぱいプレーしました。

皆さんの元氣に好プレーも連発!!何と5本ものホールインワンが飛び出しました。

久しぶりの部員の皆さんのふれあいに暑さも吹っ飛ば笑顔の大会となりました。

金城女性部は今後も元氣に活動していきます。



## 楽しくふれあい女性部活動 三隅女性部グランドゴルフ大会

三隅女性部（猪俣房子部長）は7月6日にグランドゴルフ大会を開催しました。

台風で雨の心配もありましたが、無事に雨も降らず少し曇りの絶好のプレー環境となりました。当日はボールが転がりやすいコースに悪戦苦闘しながら、皆さん笑顔で笑いあるプレーとなりました。休憩中も楽しく会話され久々の女性部での集まりを楽しみました。

三隅女性部も元氣に活動をしていきます！



## 三隅町周布地早乙女会

三隅町のミニ女性部、周布地早乙女会は7月3日に周布地集会所で手芸教室を開催しました。今回は家の光4月号を参考に「モールで作るチュウリップのリース作り」に挑戦しました。

色とりどりのひょうたん型のモールを使ってチュウリップの花と葉のパーツを次々と仕上げていきました。「ねじって作るから簡単で、とてもかわいくできましたわね」と



最後に出来上がったリースを持ってみんなでつこり記念撮影をおこないました。



# JA平和街セルフSS

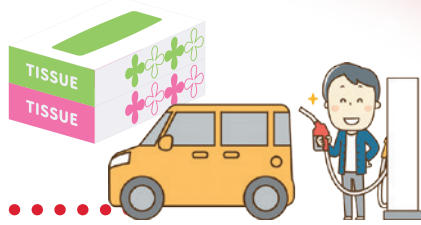
# 感謝祭



令和4年 **9/23(金) 24(土) 25(日)** イベントタイム 9:00~18:00

**特典  
その1**

来店給油者全員に  
**BOXティッシュ(2個)**  
をプレゼント!



**特典  
その2**

給油15ℓ以上でレシートに当たりが出たら  
**トイレットペーパー(6ロール)**  
をプレゼント!



**特典  
その3**

9月23日~10月23日の間にJA組合員になると  
**粗品**をプレゼント!  
さらに給油の際(ガソリン・軽油)  
**2円引き**となります。



JAしまね  
いわみ中央地区本部



**JA SS 平和街給油所**  
**0855-22-2047**

# ぶどう直売所開設のご案内!!

秋の味覚!ぶどうのシーズンがいよいよ始まります!!  
9月よりピオーネを中心に、ぶどうを直売所にて販売中!

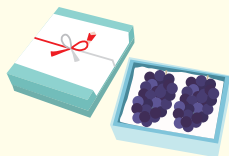
## ★直売期間：9月1日(木)～9月30日(金)

- \*生育状況により変更になる場合があります。
- \*火曜日・土曜日はお休みさせていただきます。
- 祝日により休みになる場合もあります。

## ★直売時間：午前9時00分～11時30分まで

\*なくなり次第終了します。

★進物や贈答への  
宅配受付も行います。



JAしまね いわみ中央地区本部営農経済部 特産課  
TEL : 0855-22-8818 FAX : 0855-22-0679

## JA所有土地売払いのお知らせ

次の財産を売払い致します。

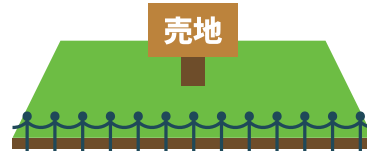
No.	区分	所在地	登記地目	面積	備考
1	土地、建物	浜田市金城町追原215番地他	宅地	354.23m <sup>2</sup>	旧美又事業所

※面積については実測と異なる場合があります。

【申込受付期間】

令和4年8月15日(月)～令和4年8月31日(水)

※受付の先着順でお話しを承ります。



お問い合わせ先 JAしまね いわみ中央地区本部 企画管理課 TEL 0855-22-0202  
受付時間 午前9時～午後5時(土日祝祭日を除く)



浜田市弥栄町 大谷 静恵 さん



江津市二宮町神主 坂本 幹枝 さん



浜田きんさい市場 匿名希望 さん

サプライズ





自然たっぷり弥栄町

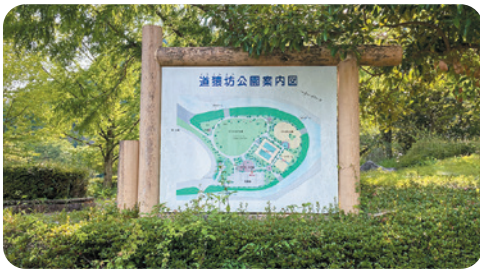
浜田市弥栄町は浜田市街から30分程度で行くことができる、人口1,300人、総面積約10.5km<sup>2</sup>の自然豊かな小さな町です。ここには町民が大切にしてきた山や田畑があります。別名、秘境の地とも言われています。市街での生活に疲れた時、ちょっと休憩に弥栄町へ行ってみませんか。今回は、そのような時に行くことができるおすすめスポットを2つご紹介します。



まず、ひとつめは小熊集落にある「あずまや」。県道34号線を走ると立て看板が見えてきます。ここを曲がり道なりに上がっていくと小休憩できる小屋が見えてきます。このあずまやは小熊集落の方々が平成24年に建てられました。ここにあるのは木の屋根に木の机と椅子のみ。この椅子に腰かけながら弥畝(やうね)山や大鹿(山を眺めることができます)を眺め、ごはんやお茶をいただきながら山からの自然エネルギーをいっぱい吸収できます。青空の下で食べるお弁当はいつものごはんとは違い、格別な味わいとなることでしょう。

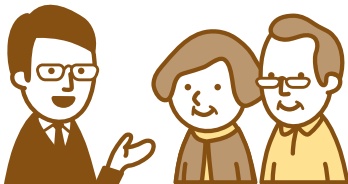


次におすすめするのは、道猿坊(どうえんぼう)公園。あずまやへ行く道をまがらずにさらに県道34号線を進むと見えてきます。この道猿坊ではテニスが楽しめる広めの公園があります。また、今の時期にしか見られない、蛍もたくさん飛んでいます。御存知のとおり、蛍は水が綺麗なところを好みます。昔は多くの場所で見ることができていましたが、最近ではめっきり少なくなりました。そのような中でも弥栄町ではまだまだ蛍が見られる場所が多いです。ただし、蛍は人工の光が苦手です。蛍を鑑賞するときは懐中電灯やスマートフォンを可能な限り抑えて観察してください。



年金相談会

9月9日(金) 三隅支店  
午後3時から午後7時まで



メガネ・補聴器巡回スケジュール

開催日	時間	会場
9月5日(月)	午前9時-午後1時	波佐事業所
9月6日(火)	午前9時-午後12時	Aコープやさか前
9月7日(水)	午前9時-午後1時	長浜事業所
9月8日(木)	午前9時-午後1時	三隅支店前
9月9日(金)	午前9時-午後1時	Aコープあさひ前
9月20日(火)	午前9時-午後1時	江東事業所
9月21日(水)	午前9時-午後1時	金城支店前
9月22日(木)	午前9時-午後1時	雲城出張所

ご自身・ご家族の  
メガネ調整、  
補聴器点検等  
気軽に  
お立ち寄り下さい!!

人事異動のお知らせ

【退職者】

令和4年7月31日付

氏名	職能	部署	職位	備考
小川 聡	正職員	浜田支店 渉外課	課長	依願退職
岡田 拓也	正職員	統括支店 金融課		依願退職
野村 愛	定期職員	金城支店 業務課		依願退職



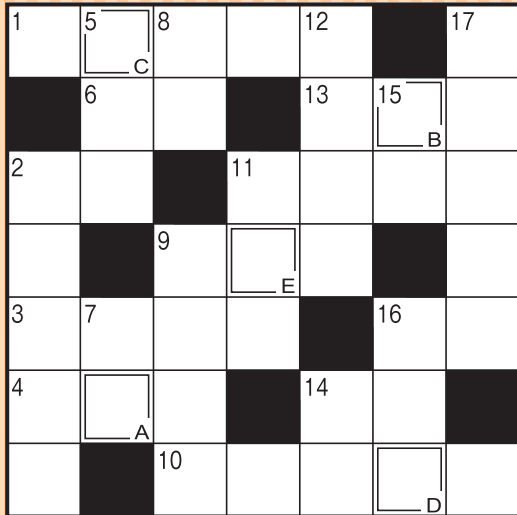


CrossWord Puzzle

# クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A B C D E

## タテのカギ

- ②令和4年9月23日は——の日。国民の祝日です
- ⑤秋は稲や粟、ブドウなどいろいろな作物が——を迎える季節です
- ⑦竹や梅と並んでめでたい植物
- ⑧幸水や豊水が広く作られています
- ⑨『赤ずきん』ではおばあさんに化けました
- ⑪節約のために——簿を付け始めた
- ⑫楽団の前でタクトを振ります
- ⑭お彼岸には掃除に行き手を合わせる人が増えます
- ⑮ピンチなんです！
- ⑯長く続けると足がしびれることも
- ⑰——コーヒー、——フットボール

## ヨコのカギ

- ①女郎花と書く秋の七草。同じ——科の植物にオトコエシというのがあります
- ②頭隠して——隠さず
- ③すいっちょんと鳴く虫
- ④インフレのときに上がります
- ⑥贈答品に付けます
- ⑨風が吹くともうかるかも
- ⑩フェルメールの代表作『真珠の——の少女』
- ⑪店の中に他の客はいません
- ⑬葉の——は徐々に表れた
- ⑭紙を燃やすと残ります
- ⑯10を3回掛け合わせると



## 応募要項



### ●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

### ●賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

### ●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

### ●宛先・締切

〒697-0024 浜田市黒川町3741番地

J Aしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
2022年9月2日（金）（当日消印有効）

### ◆先月号の答え◆

#### 「アワオドリ」



# 川柳の広場

## 最優秀賞

父母の知らぬ傘寿という景色

出雲市 北村 功様

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

## 優秀賞

カタカナ語増えて昭和は生きづらい

浜田市 岩本 静代様

主婦業も休暇願いを出す猛暑

出雲市 多久和敬子様

未だ喜寿と趣味が青春続けさす

出雲市 大福 利彦様

## 佳作

順調に育っています反抗期  
何時の間に子供になった蜜狩  
暑いねと会う人ごとの合言葉  
つばめ来てカラスと戦う親とじじ  
連れ添ふて時に衝突半世紀

松江市 佐藤 正子様  
浜田市 小林 定雄様  
出雲市 佐藤 勝枝様  
出雲市 高橋 幸子様  
津和野町 田中とよし様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 922円  
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびよりには、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

### 応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、メールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

### あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1  
J Aしまね ふれあい福祉課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
F A X : 0852-67-7708  
Eメール : fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

# 知らないと損！農業者年金で税金対策



## まず農業者年金ってなに？

サラリーマンの年金 (厚生年金)	報酬比例部分(老齢厚生年金) 国民年金(老齢基礎年金)	2階立て
農業者の年金 (国民年金のみ)	国民年金(老齢基礎年金)	1階立て
農業者の年金(国民年金+農業者年金)	農業者年金 国民年金(老齢基礎年金)	

農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、自分で2階部分の年金を準備する必要があります。この2階部分として農業者には農業者年金があります。

## 農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。

保険料は月額2万円から6万7千円の中で自由に選択できます。その支払った**保険料全額が社会保険料控除となりますので、その分課税対象所得が下がり税金が安くなります。**

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その**合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で241万2千円)が経営主の所得から控除**できます。

## 保険料の前納納付を活用し、税金対策を。



今年は豊作で収入が良かったな…  
だけど税金が多くかかるのでは…  
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も**全額社会保険料控除**に使える！

### 注意点

**11月15日が前納申し込み期限**ですので、翌年の3月の確定申告で社会保険料控除として申告を考えている場合は、それまでにJAの窓口で申し込みをする必要があります。

よって**11月初旬に今年の売上のチェックが必要！！**

詳しい内容のお問合せは…

**お近くの農業委員会・JAへ！！**

## でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 へは…

**国民年金  
第1号  
被保険者**  
国民年金保険料  
納付免除者を除く

**年間60日以上  
農業に従事**

**60歳未満**

の方なら**どなたでも**加入できます。

## ハチを見かけたら巣づくり警報!

**無料調査**

**ハチ  
駆除**

**近寄らず、触らず!!**

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は  
最寄りのJAまでご連絡ください。  
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの  
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

**最寄りのJA各支店に  
お問い合わせください**

### 取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

**Kodama 株式会社 コダマサイエンス**

■本社/島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所/☎0852-26-6757 ■出雲営業所/☎0853-31-9600

■益田営業所/☎0856-22-5390 ■江津出張所/☎0855-52-6852

■隠岐営業所/☎08512-2-2471



## \* 南瓜と豚肉の甘辛焼き



### コメント

- ・酢の隠し味でいつもと一味違う南瓜料理に変身!
- ・さっぱりとした味は、お弁当のおかずやおつまみにも最適です。

### アレンジ

- ・南瓜はレンコン、さつま芋、人参、ごぼう等の根菜類に替えても美味しくできます。
- ・豚肉を鶏肉や牛肉、厚揚げに替えても、また南瓜だけでもOKです!

### 材料 (4人分)

- 豚肉 (小間切れ) …… 250 g
- 塩こしょう …… 少々
- 小麦粉 …… 大さじ 1
- 南瓜 …… 1/4 個 (約300 g)
- サラダ油 …… 大さじ 1
- A 濃口醤油 …… 大さじ 2
- 砂糖 …… 大さじ 1
- 酢 …… 大さじ 1
- コチジャン (お好みで) …… 小さじ 1
- 白ごま …… 大さじ 1
- 細ねぎ …… 2~3 本
- 青じそ …… 4~5 枚

### 作り方

- ①ビニール袋に小麦粉と塩こしょうを入れて振り混ぜ、そこに肉を入れて粉を薄くまぶし付ける。
- ②南瓜は厚さ0.5~1cmの食べやすい大きさに切り、耐熱皿に乗せて軽くラップをして、レンジ(600w)で4分間加熱する。
- ③フライパンに油を薄く引き①の肉を炒めて火を通し、皿に取り出しておく。
- ④③のフライパンに残りの油を入れ、②の南瓜を並べ、両面に軽く焦げ目がつくまで焼く。
- ⑤④のフライパンに取り出しておいた肉を入れ、混ぜ合わせたAを加えて弱火で絡める。
- ⑥白ごまを振りかけ、青じそを敷いた器に盛り、小口切りにした細ねぎをかけたら完成。

### 材料 (4人分)

- ピーマン …… 3~4 個
- 人参 …… 1/2 本
- ハム …… 60 g
- 春雨 …… 40~50 g
- 乾燥わかめ …… 5 g
- 白ごま …… 大さじ 1
- A しょうゆ …… 大さじ 1 と 1/2
- 酢 …… 大さじ 2
- 砂糖 …… 大さじ 1
- ごま油 …… 大さじ 1

### 作り方

- ①ピーマン、人参、ハムは細せん切りにする。
- ②ピーマンは耐熱皿に乗せ、軽くラップをしてレンジ(600w)で1分加熱する。
- ③春雨は熱湯で戻し、食べやすい長さに切る。
- ④ボウルにAを混ぜ合わせ、材料全部を入れてあえたら完成。

## \* ピーマンの春雨サラダ

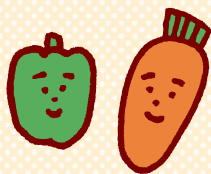


### コメント

- ・さっぱりとした味は、夏の箸休めに最適です。
- ・お弁当のおかずや作り置きの一品どうぞ!

### アレンジ

- ・きゅうり、ゴーヤ、ズッキーニでも美味しくできます。
- ・ハムは、焼き豚や竹輪、ツナ缶、カニかまぼこに替えることで色々な味を楽しめます。



## JA島根厚生連

## 健康散歩

熱中症は例年7月から8月にかけて多く発生します。気温や湿度が高い、風が弱い、日差しが強いなどの環境で起こりやすくなります。体温調節の機能が正常に働かず、体内に熱がこもってしまったり、水分・塩分のバランスが崩れたりすることが主な原因です。症状は体温上昇・めまい・けいれん・頭痛などが挙げられ、命にかかわることもあります。特に、小児・高齢者・持病のある人・肥満の人・普段運動をしていない人は熱中症になりやすいので注意が必要です。

### 予防のポイント

#### (1) 暑さを避けること

- ・室内では扇風機、エアコンを上手に使いましょう。
- ・屋外では日傘や帽子を着用し、涼しい場所や日陰に入りましょう。

#### (2) こまめに水分をとること

- ・のどの渇きを感じなくても、水分・塩分・スポーツドリンクなどをこまめに補給しましょう。特に外出時には多めに準備しましょう。

### 日陰で休もう



## 熱中症を予防しましょう

### (3) 適宜マスクをはずすこと

- ・人と十分な距離 (2m以上) が確保できる場合や散歩・ランニングなどの運動時にマスクは必要ありません。

### (4) 日頃から健康管理をすること

- ・栄養や睡眠をしっかりとり、規則正しい生活をしましょう。
- ・定期的に体温測定や健康チェックを行いましょう。
- ・体調が悪い時は無理をせず自宅で静養し、外出を控えましょう。
- ・少しでも体調の変化を感じたら我慢しないで休憩し、まわりの人に伝えましょう。

### ウライときはマスクをはずそう



熱中症は気温の高い昼間に起きると考えがちですが、実は睡眠中にも起こりえます。睡眠中は知らないうちに汗が蒸発し、冬でも200ml前後、熱帯夜には500mlと、想像以上の水分を失っています。睡眠前にコップ1杯程度の水を飲み、手の届くところに水を準備して寝るようにしましょう。